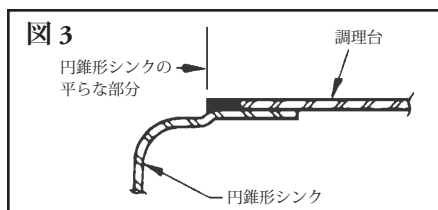
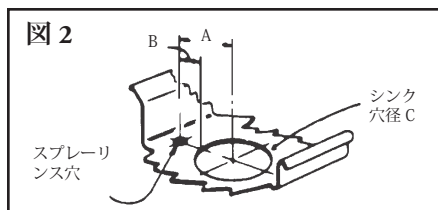
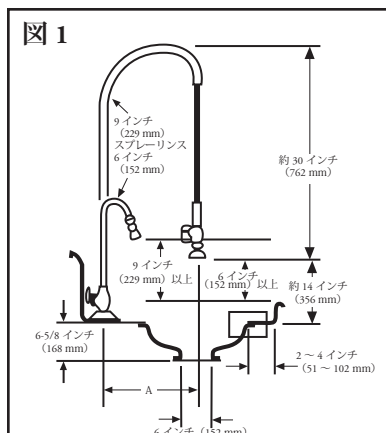


設置マニュアル - モデル 200、300、500

重要

設置を行う前にすべての指示を注意深くお読みください

この設置マニュアルで指定しているシンク取付金具またはコーンを使用して、ディスポーザーを正しく設置していない場合、深刻な負傷をまねくおそれがあります。本製品には危険な可動部品があり、人的負傷をまねくおそれがあります。



6 インチ (152 mm) スプレーリンス	
	C-15 15 インチ (381 mm) コーン
A	11 ³ / ₄ インチ (298 mm)
B	3 ¹ / ₂ インチ (89 mm)
C	16 ¹ / ₂ インチ (419 mm)
9 インチ (229 mm) スプレーリンス	
	C-15 15 インチ (381 mm) コーン
A	12 ⁷ / ₈ インチ (327 mm)
B	4 ⁵ / ₈ インチ (117 mm)
C	16 ¹ / ₂ インチ (419 mm)

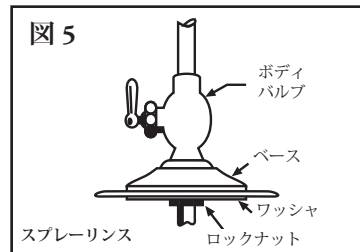
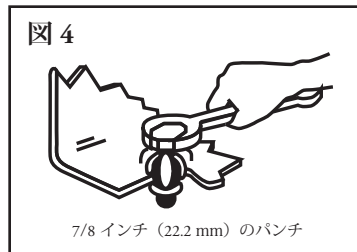
ディスポザーを交換している場合、「市販ディスポザーのセットアップと設置」の項に進んでください。

円錐形シンクのシンク / 作業テーブルへの取付

1. (図 1 および 2 参照) 図 2 のようにして穴の中心を出します。シンクまたは作業テーブルに、直径「C」の穴を、前端部（作業者側）の内側から 2 インチ（51 mm）以下離してあけます。
2. コーンをテーブルの下面で持ち上げて、コーンのフランジ部が端部全体に重なるようにします（図 1 および 3）。
3. コーンプレッフィッティングが正しい位置にあることを確認します。15 インチコーンの場合、穴が作業者の左右にくるようにします。（位置については図 7 を参照してください。）
4. 円錐形シンクのフランジをシンクの下側または調理台に、板付け溶接、スポット溶接、リベット留めまたはボルト留めします。リベットまたはボルトで締結する場合、上側表面を平滑仕上げし、リベットやボルトの頭の周りがあるハンダを洗浄してから、サンドペーパーで平滑に仕上げます。
5. きれいに、耐久性に富み、防水性のある衛生的な設置をするために、テーブルと円錐形シンクのフランジ部との接合部をビード溶接するか、ハンダ付けした後に完璧にハンダ洗浄してください。
6. 円錐型シンクは図 3 に示すように段付きのデザインになっています。溶接またはハンダ付け作業では、円錐形シンクを調理台または作業テーブルに組み付ける必要があります。その際は、あらゆる努力をして、円錐のくぼんだ平らな部分には溶接またはハンダ付け材料が付かないようにしてください。そうすることで所要洗浄時間を短くし、あらゆるカバーに対して滑らかで平らな面を用意することができます。
7. 設置のための必要最小条件：
 - ・ ごみディスポーザーの左右面と側壁面との最小クリアランス：18 インチ（457 mm）
 - ・ 後壁面までの最小クリアランス：10 インチ（254 mm）
 - ・ シンク / 調理台下にあるごみディスポーザー取付部と室内の間にフロントパネル / ドアがないこと。

スプレーリンスの設置

1. 中心を出します (図 1 および 2)。
2. 中心に 7/16 インチ (11.1 mm) のドリル穴をあけます。
3. 図示のようにして 7/8 インチ (22.2 mm) のパンチを組み付け、ダイがステンレス鋼を貫通するまでボルトの頭を締め付けて、7/8 インチ (22.2 mm) の穴をあけます。(図 4)
4. 図 5 に示すようにして、ボディバルブとベースを所定位置に配置し、ワッシャとロックナットを組み付けます。
5. 電圧 - 温度コンバータアセンブリを突き出ているニップルに取り付けます。



市販ディスプレイのセットアップと設置

1. 図 6 に分解図示され、図 7 に最終ユニットへの組み付けを図示されているようにして、渦巻スプレーの配管を組み付けます。
2. クッションマウントを円錐形シンクのフランジにかかるようにして上向きにスライドさせます。クッションマウントの内側端部はこの作業をしやすくするために面取りしてあります。

3. 片方のクランプリングをスライドさせてクッションマウントの上に移動し、上側の2つのビードの間に配置したら締め付けます。これによりクッションマウントは円錐形シンクにしっかりと取り付けられます。

注：クッションマウントが逆さまに取り付けられていないことを確認するために、6 インチ（152 mm）の開口部で、作業テーブルの上から円錐形シンクを見下ろし、クッションマウントのセンタープラグに文字が読み取ることができるか確認します。ここには「Remove before using」（使用前に外してください）と書かれています。

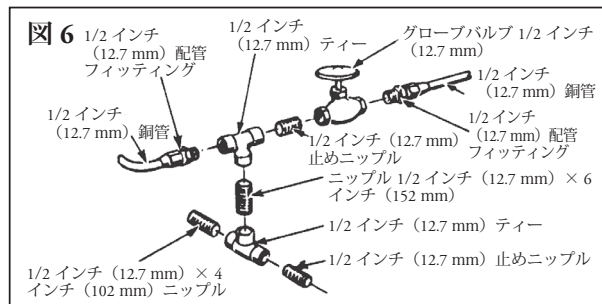


図 7

注:

ソレノイドバルブとディスポーザーの間には、ソレノイドのハンマリングを防止するために、流量を調整するためのグローブバルブを設置する必要があります。図 7 を参照してください。ソレノイドバルブの上流にあるバルブは、制限を生じさせないようにすべて開いてください。

重要！最小水流量（「配管の設置」の項を参照）を設定せずにディスポーザーの試験および運用を行わないでください。シールが損傷して、保証は無効になります。

注:

ディスポーザーアセンブリにはディスポーザー、出口部、ニップル、クッションマウントおよびサポート類が含まれます。その他のアイテムについては別途ご購入ください。図 7 で網掛け表示されているアイテムは装置グループとして入手可能ですので、別途ご購入ください。

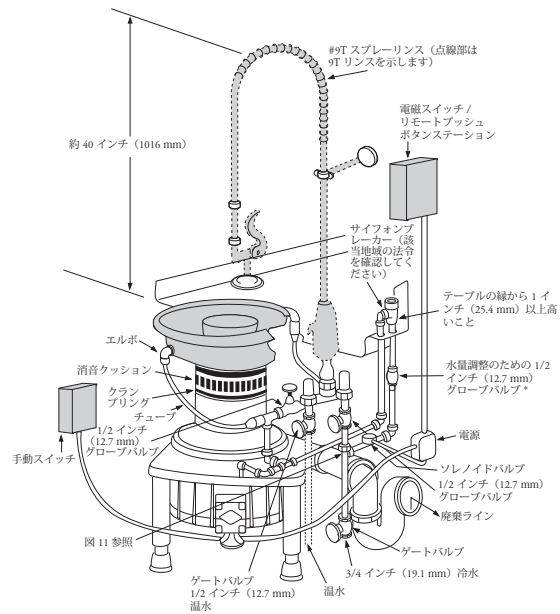


図 8

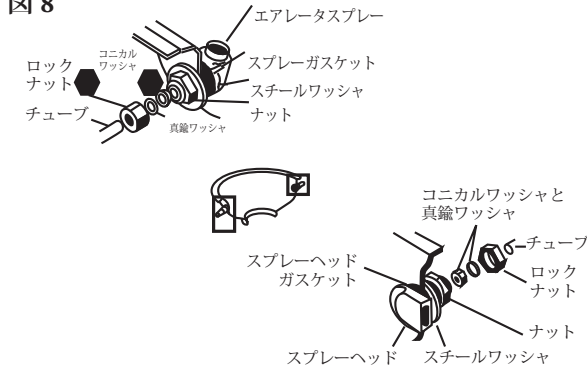
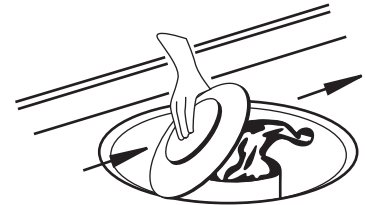


図 9 コンバーチブルスプレー

コンバーチブルスプレーは廃棄動作における皿の移動方向の反対に配置する必要があります。

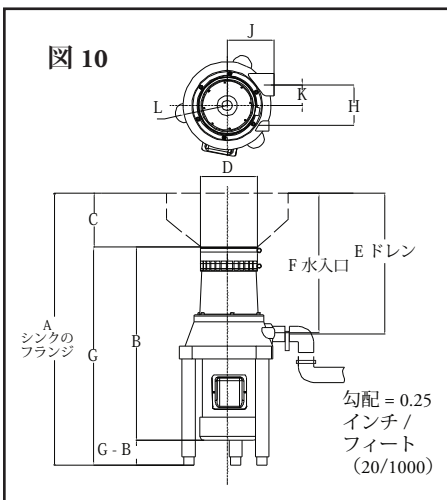


- 2 番目のクランプリングをスライドさせ、クッションマウントの上の前に締め付けたクランプリングのところまで持ち上げて、ゆるんだ状態で配置します。ここでは締め付けしないでください。
- アッパーハウジングの上部とクッションマウントの間に約 1/4 インチ (8 mm) のスペースができるように脚をねじってゆるめます。アッパーハウジングがクッションマウントの中にスライドするまでディスポーザーを持ち上げます。ゆるんでいるクランプをスライドさせて、クッションマウントの下側の 2 つのビードの間に配置し、締め付けます。
- 図 8 に示すようにして渦巻スプレーを組み立てます。ここに示す渦巻スプレーの組み立て方法は一般的なものです。コンバーチブルスプレーと固定式の渦巻スプレーの異なる組み合わせも入手可能です。固定式スプレーヘッドの出口穴は、円錐形シンク内の渦巻アクションのために水平にすべきです (コンバーチブルスプレーについては図 9 参照)。
- 銅チューブを渦巻スプレーにつながるチューブに接続し、徐々に曲げてバルブのフィッティングに接続します。図 7 を参照してください。
- 専用ニップルをドレン出口にねじ込み、消音コネクタをスライドさせてパイプの上まで移動し、クランプリングを組み付けて 2 つの溝に入れて締め付けます。

注: すべての配管および電気接続部は該地域の法令に従って作成する必要があります。

設置寸法およびドレン配管の接続

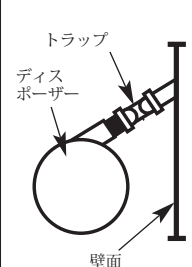
図 10



寸法

	200-1	200-3	300	500
A*	32 ³ / ₈ ~ 35 ¹ / ₈ インチ (822 ~ 829 mm)	32 ³ / ₈ ~ 35 ¹ / ₈ インチ (822 ~ 829 mm)	32 ³ / ₈ ~ 35 ¹ / ₈ インチ (822 ~ 829 mm)	32 ³ / ₈ ~ 35 ¹ / ₈ インチ (822 ~ 829 mm)
B	21 ¹ / ₁₆ インチ (541 mm)	20 ⁹ / ₁₆ インチ (522 mm)	22 ¹⁵ / ₃₂ インチ (571 mm)	22 ¹ / ₂ インチ (572 mm)
C	6 ⁵ / ₈ インチ (168 mm)	6 ⁵ / ₈ インチ (168 mm)	6 ⁵ / ₈ インチ (168 mm)	6 ⁵ / ₈ インチ (168 mm)
D	6 インチ (152 mm)	6 インチ (152 mm)	6 インチ (152 mm)	6 インチ (152 mm)
E	16 ¹ / ₄ インチ (413 mm)	16 ¹ / ₄ インチ (413 mm)	17 ¹⁵ / ₁₆ インチ (456 mm)	17 ¹⁰ / ₁₆ インチ (439 mm)
F	16 インチ (406 mm)	16 インチ (406 mm)	16 ⁷ / ₈ インチ (410 mm)	16 ⁷ / ₈ インチ (416 mm)
G*	25 ¹ / ₄ ~ 28 ¹ / ₂ インチ (654 ~ 724 mm)	25 ¹ / ₄ ~ 28 ¹ / ₂ インチ (654 ~ 724 mm)	25 ¹ / ₄ ~ 28 ¹ / ₂ インチ (654 ~ 724 mm)	26 ¹ / ₄ ~ 28 ¹ / ₂ インチ (667 ~ 730 mm)
H	5 ¹ / ₈ インチ (130 mm)	5 ¹ / ₈ インチ (130 mm)	6 ⁷ / ₈ インチ (175 mm)	8 ¹ / ₁₆ インチ (214 mm)
J	5 ¹ / ₄ インチ (146 mm)	5 ¹ / ₄ インチ (146 mm)	8 ⁷ / ₈ インチ (225 mm)	8 インチ (203 mm)
K	2 ³ / ₈ インチ (60 mm)	2 ³ / ₈ インチ (60 mm)	3 ³ / ₈ インチ (86 mm)	4 ¹ / ₄ インチ (121 mm)
L	6 ⁷ / ₁₆ インチ (164 mm)	6 ⁷ / ₁₆ インチ (164 mm)	7 ¹⁵ / ₁₆ インチ (198 mm)	10 ¹⁰ / ₁₆ インチ (275 mm)

図 11



ディスポーザーと壁の間のスペースが、トラップを設置するためには不十分である場合、図示のように、廃棄ラインを壁に対して角度を付けて配置しても構いません。

* 脚はねじの調整において図示の最小値よりも小さく調整することができます。十分な換気のために 2 インチ (51 mm) のクリアランスを維持する必要があります。

配管の設置

注：設置寸法およびドレンラインの接続については図 10 を参照してください。

- 図 7 に図示するようにして一般的なバルブとフィッティングを使用してユニットを配管します。
注：オプションアイテムとして入手可能なサイフォンブレーカーはほとんどの地域で承認されています。地域の法令を点検して、その地域に適合することを確認してください。
- オーバーヘッドスプレーリンスを使用する場合、入側の 3/4 インチ (19.1 mm) 冷水ライン配管を 1/2 インチ配管 2 本に分岐させ、ユニットの底部で片方に 1/2 インチ (12.7 mm) ティーを接続し、もう一方をスプレーリンスの冷水側にあるグローブバルブに接続します。1/2 インチ (12.7 mm) 温水ライン 1 本をスプレーリンスの温水側のグローブバルブに接続します。
- モデル 300 および 500 の場合、3 インチ (76 mm) のドレンを消音コネクタに接続します。ドレンラインの曲げは最小にする必要があります。このユニットのドレン出口は、一般的な 3 インチ (76 mm) トラップに接続するように設計されています。モデル 200 の場合、ドレンラインとトラップは 2 インチ (51 mm) になります。

重要！ Waste Maid® ディスポーザーを設置する前に、接続する廃棄ラインから下水幹線までを清掃する必要があります。
詰まっているまたは油脂にまみれているトラップには接続しないでください。

スタックに直接流れ込む 3 インチ (76 mm) の枝廃棄ラインにトラップが接続されていることがあります。モデル 200 の場合、枝廃棄ラインは 2 インチ (51 mm) にできます。廃棄ラインには 1 フィート当たり 1/4 インチ (20/1000) 以上の勾配を付けることを推奨します。曲げのない水平ドレンラインは 15 フィート (4.6 m) までに制限し、その後は長い 45° の「Y」を使用して 3 インチ (76 mm) または 4 インチ (102 mm) の水平ラインまたはスタックへと接続します。穴付きねじフィッティングを全体に使用し、管の端部がすべて慎重にリーマ仕上げしてください。エルボ、ティーなどはできるだけ使用しないようにして、配管が閉塞する可能性を低減してください。約 4 ガロン / 分 (151 L/m) の流量のある制御バルブを通して水をテーブルチャンバーの下側に噴射します。ユニットの内部を正しく洗浄することが必要であるため、この制御量を制限または変更することはいけません。

重要： 下水配管の状態が異常である場合（曲げ部が多すぎる、幹線までの距離が長いなど）、その用途に対して水圧が低すぎて流量が小さい場合、または食品ごみに含まれる葉や紙素材の割合が高い場合、閉塞を克服するために、時差使用や水噴射の使用を真剣に検討してください。このような状態においては、より大きなサイズの冷水ライン、ソレノイドバルブ、サイフォンブレーカーを使用するようにしてください。（部品およびデータは工場からご提供できます。）

* モデル別の最小水流量： 200 および 300 - 10 ガロン / 分 (379 L/m) 500 - 14 ガロン / 分 (530 L/m)

試験

重要！ 最小水流量（「配管の設置」の項を参照）を設定せずにディスポーザーの試験および運用を行わないでください。シールが損傷して、保証は無効になります。

- アセンブリの漏洩試験：
 - 渦巻スプレーフィッティングの接続箇所
 - ディスポーザーと円錐形シンクの接合部
 - すべての配管接続部
 - 円錐形シンクとテーブルの接合部
- 配管および電気配線が完了したら、ディスポーザーの電源を入れて、すべての部品が正常に作動し、ディスポーザーのターンテーブルが上から見て時計回りに回ることを確認します。バキュームブレーカーラインのバルブを開き、配管アセンブリのグローブバルブ（図 6 参照）を使用して、水が円錐形シンクの縁のすぐ下で渦を巻くように調整します。バルブはこの位置で開いたままにします。

注：皿から食品ごみを除去するためにコンバーチブル渦巻スプレーを使用する場合、流量を調整して、水はね防止特性と大流量の組み合わせが適切になるようにします（水流の上部が円錐形シンクから約 3 インチ (76 mm) 上になるようにします）。これらの組み合わせは約 8 ガロン / 分 (303 L/m) の水量を提供します。

- カバーを交換し、漏洩試験を再度実施してからユニットの電源を切ります。
- これでユニットを使用する準備は完了です。

操作指示

重要！ 最小水流量（「配管の設置」の項を参照）を設定せずにディスポーザーの試験および運用を行わないでください。シールが損傷して、保証は無効になります。

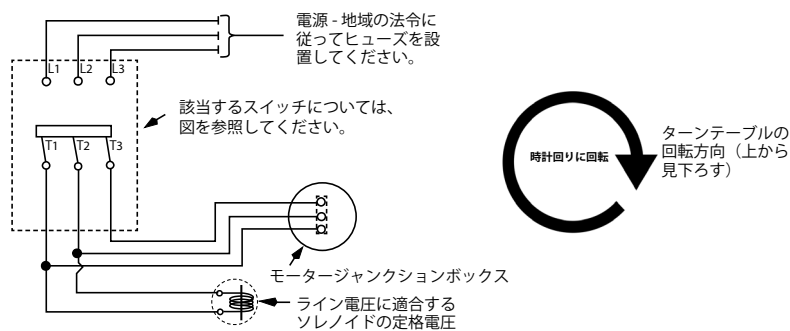
- 「スタート」ボタンを押します。ユニットが作動しており、水が流れていることを確認してからディスポーザーにごみを投入してください。食品ごみをユニットに過剰に詰め込まないでください。
缶にはいった食品ごみを直接ユニットに投げ入れないでください。食品ごみは徐々に投入するようにしてください。
- ガラス、金属、陶磁器を入れないようにしてください。入れてしまった場合は、ユニットを止めて、そういった素材を取り除いてください。
- モーターが停止した場合、停止ボタンを押してください。停止の原因となったごみを取り除いてください。ターンテーブルが引っ掛かりなく回ることを確認してください。3 分間待ってから（モーターのジャンクションボックスにある）赤いリセットボタンをしっかりと押します。次に「スタート」ボタンを押します。
- モーターから異音が生じ、ターンテーブルが滑らかに回らない場合、一般的には、金属などの障害物が挟まっています。ユニットを直ちに停止してください。適切な棒状の物体を使用してインペラの一つを押し、ターンテーブルを反時計回りに回転させます。ターンテーブルに引っ掛かりがなくなったら、ユニットを再始動する前に、バーと障害物となっている物体を取り除きます。
警告 - 3 相ユニットにおいて、（運転中にあるヒューズが飛ぶなどして）ある相が失われると、モーターに負荷がかかって過熱する原因になります。長時間使用すると、モーターを損傷してしまいます。
- オーバーロードプロテクターを（上記の項目 3 で指示するようにして）リセットした後も、モーターから動作音がしない場合、電気ヒューズと電気回路全体を点検してください。
- それぞれの作業を実施した後は、必ず 3 分間以上ディスポーザーを動作させ水を流すことで、ユニットを清浄に保ち、すべての食品ごみがドレンラインから流れ出るようにします。これは重要です。

警告：ホッパーの中や研削チャンバーの近くに手を入れる場合、その前に必ず電源を切って、ディスポーザーを静止状態にしてください。
起動コントロールをオフにするか、システムを切り離すまでは原因を探さないでください。

電気的設置

- 地域の法令に従って、防水コンジットを使用してすべての電氣的接続を行います。
- 配線図である図 12 に示されるように、手動スイッチを使用して 3 相ユニットの配線を行います。

図 12 手動スイッチを使用した 3 相ユニットの配線

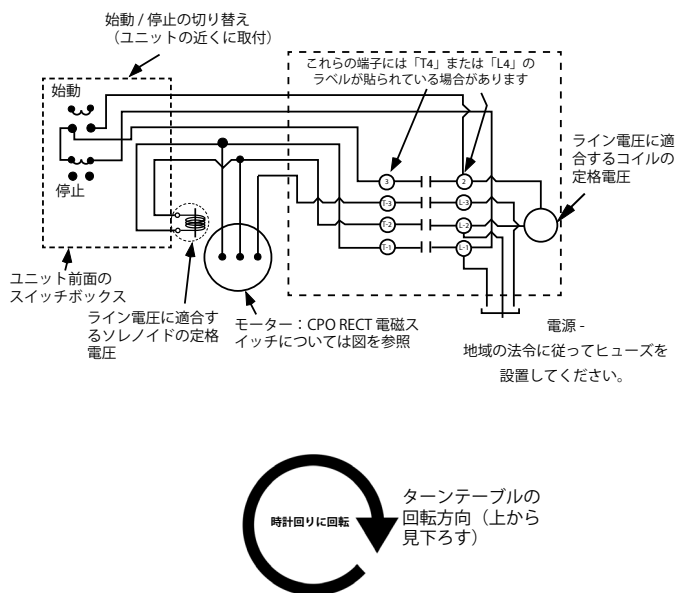


手動スイッチ	
モデル	電圧 (V)
200 2 HP	208 ~ 240
	460
300 3 HP	208 ~ 240
	460
500 5 HP	208 ~ 240
	460

注：

1. モーターは工場では 208 ~ 240 V 用に配線されています。460 V の場合、モータージャンクションボックスのカバー内側に示されるようにしてモーター配線を接続します。
2. T1 と T3 を入れ替えると逆転します。
3. Waste Maid® が供給する磁気式および手動のスターターの場合、回路を完成させるためにヒーターが必要になることはありません。Waste Maid® 市販ディスポーザーには過負荷保護装置が内蔵されています。

図 13 電磁スイッチを使用した 3 相ユニットの配線

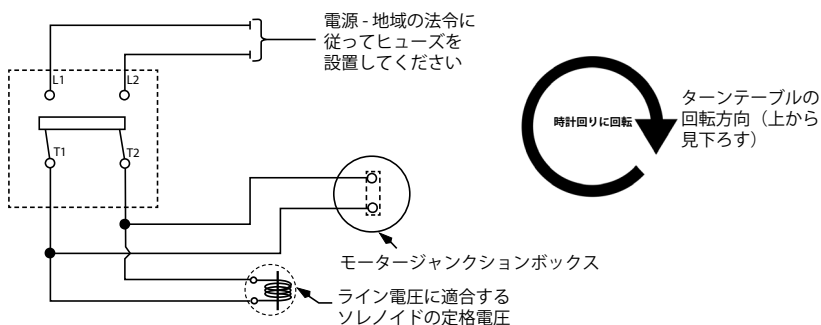


電磁スイッチ	
モデル	電圧 (V)
200 2 HP	208 ~ 240
	460
300 3 HP	208 ~ 240
	460
500 5 HP	208 ~ 240
	460

注：

1. モーターは工場では 208 ~ 240 V 用に配線されています。460 V の場合、モータージャンクションボックスのカバー内側に示されるようにしてモーター配線を接続します。
2. T1 と T3 を入れ替えると逆転します。
3. Waste Maid® が供給する磁気式および手動のスターターの場合、回路を完成させるためにヒーターが必要になることはありません。Waste Maid® 市販ディスポーザーには過負荷保護装置が内蔵されています。

図 14 手動スイッチを使用した単相ユニットの配線



手動スイッチ	
モデル	電圧 (V)
200 2 HP	110 ~ 120
	220 ~ 240

注：

1. モーターは工場では 220 ~ 240 V 用に配線されています。110 ~ 120 V の場合、モータージャンクションボックスのカバー内側に示されるようにしてモーター配線を接続します。
2. Waste Maid® が供給する磁気式および手動のスターターの場合、回路を完成させるためにヒーターが必要になることはありません。Waste Maid® 市販ディスポーザーには過負荷保護装置が内蔵されています。